



広報もとみや 号外

平成24年
3月21日発行
本宮市
秘書広報課
☎33-1111

No.16

住宅モデル除染を実施!

布、ブラシなどで効果を検証



(右)和田地区の住宅モデル除染を視察する高松市長。現場の担当者から除染の進め方の説明を受けました。



(上)屋根瓦を高圧洗浄をする様子



(下)除染作業により使用した水はゼオライトを使用して、二重にろ過する方法がとられました

3月9日から和田地区で、住宅のモデル除染が始まりました。このモデル除染は、市がこれからの市内の住宅の格的除染に取り組む前に、効果的な除染の方法を検証するため、市内でも比較的線量の高いとされる和田地区で、小さい軒下など、いろいろな世帯を2軒選定の効果を検証しました。主な除染の方法は、布タオルでの拭き取り、ブラシ洗浄、高圧洗浄、敷地内へ地下埋設した土砂作業で使用した布等は、敷地内へ地下埋設し仮置きする方がとられました。次回以降お知らせいたします。

【住宅のモデル除染のイメージ図】

《除染作業の主な工程》

【屋根】

- ①落葉などの除去
- ②布タオルで拭き取り
- ③水を散布しブラシ洗浄
- ④高圧洗浄→効果を確認

【外壁】

- ①布タオルで拭き取り
- ②水洗い、ブラシ洗浄、高圧洗浄

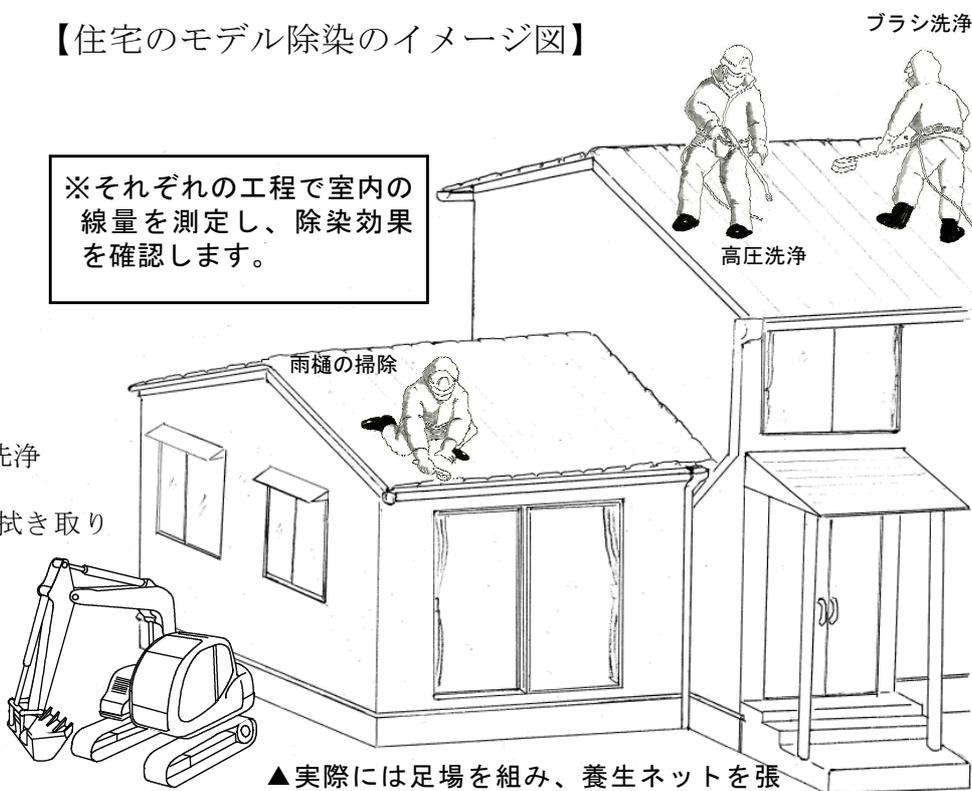
【外構等】

- ①玄関前タイルを布タオルで拭き取り
- ②水洗い、ブラシ洗浄
- ③高圧洗浄

【敷地】

- ①表土除去、碎石敷ならし、客土、圧密による原状回復、側溝清掃、洗浄

※それぞれの工程で室内の線量を測定し、除染効果を確認します。



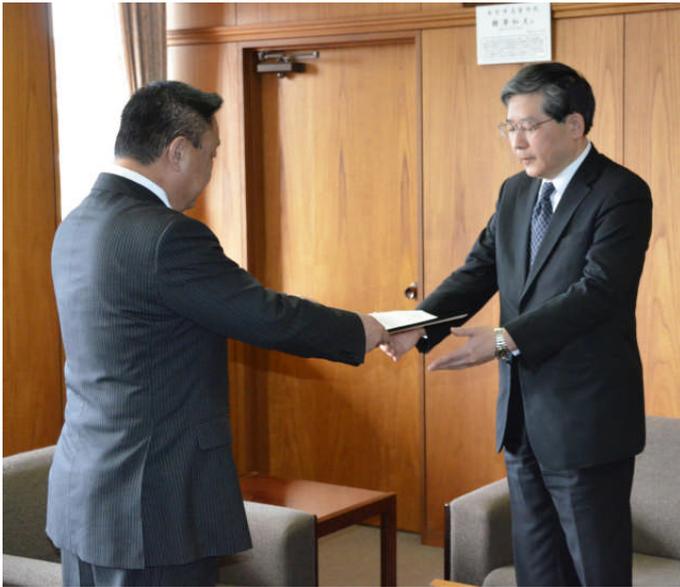
▲実際には足場を組み、養生ネットを張った上で、作業員は安全ベルトを装着して安全を確保、作業が行われました。

【市からのお願い】 広報もとみや号外は、地震災害、放射能問題など市民の皆さんに広く周知するものについてお知らせしています。回覧される場合は、なるべく早く次の方に回覧していただきますようお願いいたします。

生涯にわたる損害に対して 東電へ完全賠償を要求

3月16日、高松義行市長は、東京電力株式会社を訪問し、東京電力福島第一原子力発電所事故の完全賠償を求め、要求書を手渡ししました。

農業、林業、商業、工業、観光業、医療、福祉、あらゆる生活に被害を発生させている。原因者である東京電力に、最大限の怒りをもち、あらゆる損害を賠償し、誠意ある対応を求めたい。謝罪したのも、社員の安全対策を怠り、放射能漏れ、汚染水処理の不徹底、事故発生時の対応の遅延、賠償の遅延など、被害者に対する責任を認めず、謝罪の意を禁じ得ない。現場作業員の努力は称賛に値するが、放射能汚染の被害は、市民の健康や生活に深刻な影響を及ぼしている。市民は、おびやかし、放射能汚染の被害を恐れている。おびやかし、放射能汚染の被害を恐れている。おびやかし、放射能汚染の被害を恐れている。



東京電力株式会社宮本史昭常務（右）へ要求書を手渡す高松市長

「要求書全文」 東京電力福島第一原子力発電所事故の完全賠償を求める要求

平成23年3月11日発生した福島第一原子力発電所3号機から発生した放射性物質の拡散による被害は、市民の健康や生活に深刻な影響を及ぼしている。おびやかし、放射能汚染の被害を恐れている。おびやかし、放射能汚染の被害を恐れている。おびやかし、放射能汚染の被害を恐れている。

一、東京電力福島第一原子力発電

記

東京電力株式会社
取締役社長 西澤 俊夫 様

平成24年3月16日

無事故がなければ生じることのない精神的損害を含む。無事故がなければ生じることのない精神的損害を含む。無事故がなければ生じることのない精神的損害を含む。

各種健康調査結果について

【ホールボディーカウンター】

昨年12月1日よりホールボディーカウンターによる検査を実施しています。現在までに※預託実効線量が1ミリシーベルトを超えた方は、いませんでした。検査の進捗状況は、3月中旬には白沢地区の小中学生の検査が終了します。4月からは本宮地区の小中学生の検査が始まる予定です。

■実施人数(3月13日現在)

・4歳以上未就学児	869人
・小学生	448人
・中学生	449人
・高校3年生	324人
・4歳以上未就学児保護者	784人
・4歳未満幼児の保護者	147人
・妊婦	80人
・大玉村	535人
合計	3,141人

※預託実効線量 (成人では50年間、子どもでは70歳までに体内から受けると思われる内部被ばく線量)

【甲状腺検査】

甲状腺の検査は、昨年11月25日より毎週金曜日の午後の実施しております。現在まで異常が認められるお子さんはいませんでした。

■実施人数 203人
(3月14日現在)

白沢地区の4歳未満のお子さんの検査は終了し、現在、高木地区を実施しています。3月末から仁井田地区の検査が始まります。

【ガラスバッジ】

昨年9月1日から11月30日までの3カ月間、中学生以下の子どもと妊婦の皆さんがガラスバッジを着用し、積算線量を測定した結果がまとまりましたので、お知らせします。

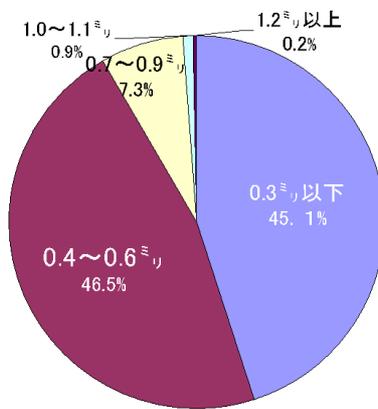
ガラスバッジ回収人数は、4,742人で、最小値は検出限界値未満、最大値は1.6ミリシーベルト、全体の平均値では0.42ミリシーベルトでした。この結果から本宮市放射線健康リスクアドバイザー野口邦和先生と福島県立医科大学および福島県線量アドバイザーグループの委員の先生方より次のとおりアドバイスをいただいております。

▽前回結果と合わせた3カ月間の結果を検証しましたが、健康への影響を心配するレベルの線量の方はおりません。▽市では市内全域の除染に取り組みます。放射性物質は時間とともに減少する特性があり

ますので、空間線量は低下すると予想されます。

測定値の分布 検出限界値未満

0.3ミリシーベルト	213人
0.4〜0.6ミリシーベルト	139人
0.7〜0.9ミリシーベルト	207人
1.0〜1.1ミリシーベルト	346人
1.2ミリシーベルト以上	41人
2ミリシーベルト以上	9人



【電子式積算線量計】

高校生以上の方々を対象として、電子式積算線量計を1〜2週間貸し出した結果をお知らせします。

(1)貸出人数 483人
(3月14日現在)

(2)年間線量の推計値

■自然放射線による寄与を含む放射線量 (単位:ミリシーベルト/年)

・最小値	0.67
・最大値	4.75
・平均値	1.93

■福島原発事故に起因する年間線量の推計値 (単位:ミリシーベルト/年)

・最小値	0.00
・最大値	3.59
・平均値	1.09

年間線量の推計値 (単位:ミリシーベルト/年)

(3)測定値の分布

1ミリシーベルト以下	50.31%
2〜3ミリシーベルト以下	44.10%
3ミリシーベルト以上	4.97%

※推計値では0.2ミリシーベルトの方が全体の94.41%を占めます。

◆問い合わせ先

保健課(えぼか内)健康増進係

☎633-2780

「65歳以上の高齢者(23価)肺炎球菌ワクチン」の接種期間が延長されました。

高齢者肺炎球菌ワクチンの接種期間は平成24年3月31日までとなっておりましたが、接種希望者の急増に伴うワクチン不足等により、接種を受けられなかった方に対し、期間が延長されました。ただし、今年3月31日までに医療機関に接種予約をした方が対象となります。接種については6月30日までとなります。

また、お済みでない方で接種を希望する方は、3月31日までに必ず予約を入れていただきますようお願いいたします。

◆問い合わせ先

保健課(えぼか内)健康増進係

☎633-2780

災害義援金の配分状況

国・県から本宮市に配分された災害義援金の配分状況をお知らせします。災害義援金は震災により住宅が半壊以上となった世帯に対して配分しました。

また、直接本宮市に寄せられた義援金は3月16日現在で91件、7百20万6千353円で、市の災害見舞金に充当し、半壊以上の世帯に配分しました。

■国・県義援金の配分状況

区分	配分件数	配分金額
全壊	18件	21,794,544円
半壊	207件	131,528,628円
計	225件	153,323,172円

■本宮市災害見舞金の配分状況

区分	配分件数	配分金額
全壊	18件	3,820,000円
半壊	207件	27,920,000円
計	225件	31,740,000円

(上記表は3月21日現在)

◆問い合わせ先

社会福祉課 社会福祉係
☎33-1111(内線131)

総務費寄附金およびふるさと納税寄附金

災害復旧・復興などを目的に市に寄せられた寄附金およびふるさと納税寄附金について、その額と使途について次のとおりお知らせします。

総務費寄附金 40件
3千8百90万6千276円
ふるさと納税寄附金25件
6百16万9千571円

【充当先・充当額】

◇総務費寄附金(災害復旧・復興)

防災通信施設管理事業 7百32万8千873円
小学校災害復旧事業 1千2百42万5千円
中学校災害復旧事業 1千7百59万5千403円
東日本大震災対策事業 91万円
室内遊び推進事業 64万7千円
合計 3千8百90万6千276円

◇ふるさと納税寄附金(災害復旧・復興・市長におまかせなど)

福祉バス運行事業 60万5千円
子育て支援推進事業(えぼか) 5万円
農産物等風評被害対策事業 60万円
小学校(日石小)読書活動推進事業 10万円
児童健康づくり推進事業 2百4万8千351円
道路橋りょう災害復旧事業 1万5千円

本宮市民元氣いきいき応援プラザ
災害復旧事業 10万円
カルチャーセンター災害復旧事業 1百75万5千円

東日本大震災対策事業 89万6千220円
合計 6百16万9千571円

◆問い合わせ先

秘書広報課 秘書係
☎33-1111(内線222)

避難先での保育所入所について

東京電力(株)福島第一原発事故により、市外に避難しているお子さんをお持ちの方が、避難先で認可保育所に入所できるような体制を整えました。

この制度では、市内の保育所入所同様、保護者の就労などの理由により、保育に欠ける状態であることが前提です。

保育料は、本宮市の料金体系となります。詳しくはお問い合わせください。

◆問い合わせ先

幼保学校課 幼保教育係
☎33-1111(内線234)

農産物測定所の移転について

自家用農産物の放射性物質測定所が、白沢総合支所から白沢老人福祉センター内(旧在宅介護支援センター)へ一時移転しましたのでお知らせします。

移転は、4月下旬までの予定です。お間違えのないようよろしくお願ひします。



◆問い合わせ先

農政課
☎33-1111(内線157)

飲料水のモニタリング調査結果について

昨年4月5日以降、放射性ヨウ素、放射性セシウムは検出されておられませんので、安心してご利用ください。

◆問い合わせ先

企業局上下水道課 ☎63-11132